

演習 I

科目ナンバリング SEM-301
必修 2単位

清水 恵子

1. 授業の概要(ねらい)

AIなどコンピュータ技術の発展により、今後、多くの仕事はITで処理されます。新たにAIなどの新技術が提供する情報を利用できる能力が求められる仕事が登場してくるでしょう。

財務会計を学ぶ人の将来はどうでしょうか?財務諸表は、法令や規則に従って作成される制度の会計です。単に会計処理や仕訳を覚えるだけではなく、財務諸表の元になる法律やガイドラインを理解して、会計処理の意味を知り、単なる作業者ではなく、自ら判断し行動していく能力が求められるでしょう。

この演習では、なぜ、このような会計処理や記載をしているのか、その根拠はどこにあるのかを考えるために計算書類規則や財務諸表規則ガイドラインと関連する法規、連続意見書等を読み解きます。また、基本となる会計的な考え方を学習します。財務諸表論で学んでいる内容は、どこにどのように記載されているのかを授業の中で確かめます。なぜ、どうしてなのかを、追及していく学習を目指します。

個人学習として各自で当たられ課題について関連する規則等についてのまとめを発表します。また、グループで会社をつくり、与えられた条件で財務諸表を検討し、会社としてのアクションプランを検討し、実践的な対応を学びます。

2. 授業の到達目標

- ・まず、規則等を把握し、財務諸表の基になる規則を自分で検索できるようになることです。
- ・次に条文、規則を読んで内容を説明できるようになることです。
- ・さらに財務諸表を元に目標とする売上や経営状態を実現するためのアクションプランを考えることができるようになることです。

3. 成績評価の方法および基準

授業への貢献度50%、発表レポートの内容50%

*授業への貢献度は、単に出席ではなく、ゼミの発表や進行に協力することです。

もし、授業の進行に妨げとなる行動がある場合、また、指示した資料を持参していない場合は、参加をお断りする場合があります。積極的な発表、進行に協力する行為が評価されます。

4. 教科書・参考文献

教科書

中央経済社 編 『新版会計法規集第11版』 (注)最新版 中央経済社

桜井久勝・須田一幸 財務会計・入門 第13版 有斐閣

簿記。財務会計の知識がある方は、法規集のみの購入で大丈夫です。但し、LMSの説明で参照箇所を記載しますので、用語等に不安のある方は両方購入をお願いします。

5. 準備学習の内容

財務諸表規則ガイドライン等を自主的にまとめてください。

LMSに掲載の補助資料を事前に印刷して、学習し、持参してください。

6. その他履修上の注意事項

規則集を解読できる程度の日本語力があることが前提です。

簿記、財務諸表についての基礎的な知識があることが前提です。

会計法規集を授業に持参してください。持参しないとゼミに参加できません。

積極的に発表をし、互いに研鑽してください。

LMSを利用して資料を配布するためLMSを使える環境が必要です。LMSに掲載する資料は必ず印刷して持参してください。持参しないとゼミに参加できません。

7. 授業内容

- 【第1回】 自己紹介をし、ゼミの進め方について話し合います。
- 【第2回】 企業会計の全体像について学習します。
- 【第3回】 規則等で作成を要請される財務諸表について学習します。
- 【第4回】 会計原則について学習します。
- 【第5回】 簡単な簿記の知識を学びます。
- 【第6回】 財表規則の条文を読みとしかたを実例で学びます。
- 【第7回】 研究テーマをどのようにまとめるかを学びます。
- 【第8回】 今までの復習をします。
- 【第9回】 自分の研究テーマを決めます。
- 【第10回】 資産に関連する規則について学習します。
- 【第11回】 純資産について学習します。
- 【第12回】 自分も研究テーマを再度、確認し、テーマを決定します。
- 【第13回】 自分の研究テーマについて発表をします。
- 【第14回】 自分の研究テーマについて修正をします。
- 【第15回】 発表と全体の復習を行います。